

もみじ台地域

学校規模適正化検討委員会 ニュース

～もみじ台地域の中学校の在り方について～

令和3年1月15日(金)に、もみじ台管理センターで、2回目の「もみじ台地域学校規模適正化検討委員会」を開催しましたので、検討結果についてお知らせいたします。

地域住民の皆様から寄せられたご意見

令和2年12月14日(月)に開催された1回目の検討委員会の開催結果について掲載したチラシをご覧いただいた皆様より、メールで5件、FAXで1件、計6件のご意見をお寄せいただきました。ありがとうございます。皆様から頂いたご意見については以下のとおりです。

○将来、統廃合をするのであれば、厚別区全体の学区を見直し、厚別中央エリアは厚別中学校にするなど、大幅に見直しを考えていただきたいです。あと、統廃合となれば、通学路の距離が長くなりますが、もみじ台団地エリアは人がまばらで閑散としているため、生徒が安全な通学ができるよう対策を講じる必要もあるかと感じました。

[令和2年12月 メール]

○厚別区自体の高齢化が進んでいるのは聞いてはおりますが、今住んでいる世代の交代のタイミングも進んでいくのではないのでしょうか？新札幌の再開発と地域の人気は少なからず高まっていると認識してますが、一度閉校してから生徒数が増えましたが学校、土地が無いとならないようにしなくてはならないと思います。

[令和2年12月 メール]

○少子化はもみじ台に限った事ではないことと、もみじの中学校統合後もいずれ人数不足の問題はまた訪れると思います。もみじ台の若年層を中心とした世帯増加の方法と併用して厚別区全体で中学校の学区見直しが必要ではないかと感じております。

[令和2年12月 メール]

○1 回目の委員会における検討結果について

1. 統合に際しては「もみじ台中学校」を活用することが適している。
→強くそう思う。幸いバス通り沿いなのもあり、もし、もみじ台南周辺に住んでいてもバスで通える。もみじ台団地線は朝もバスの本数が比較的多いので交通の便が良い。
2. 通学面などの課題について
→近年は使用者の減少などにより、バスの本数が減っているが、中学生も使うのならば必然的に使用者は増える。また、バスの本数が増えれば、郊外だが土地も広く安いもみじ台に参入する子育て世代が出てきて地域活性に役立つのではないか。
3. 両中学校間で交流事業など丁寧に準備が必要
→賛成できない。現役中学生が統合に間に合うのならば意味があるのかもしれないが、ギリギリなら意味が無いのでは。状況は緊迫しているが、トラブルに合わせて余裕を持った日程にすべき。どちらも小中学生からの友人関係もあるのでそこまで慎重になる必要があるのか。また、コロナ禍もいまだ収束しないなかで行うほどの成果が得られるのか。
(恐らく) 代表者のみの交流は両生徒になんの刺激を与えるのか。
4. 中学統合を機に「小中一貫校」などを設置し、子育て世代により良いまちづくりの推進を図る。
→ぜひ推し進めてほしい。

[令和2年12月 メール]

- 中学校について、まず統合するのが1番良いと思うので統合に向けてすぐ動いて欲しいです。ここから何年もかかるのは、子供のためにもならないと思います。そしてここから更に10年後にまた同じ議論で時間を費やさないように、統合後また生徒が少なくなった時のことまでも話合っ
てほしいです。

[令和3年1月 メール]

- 「小中一貫校の設置」について尊重します。

[令和3年1月 FAX]

検討内容とそれに対する委員のご意見

【中学校の統合時期について】

○子どもたちのことを中心にして考えると、より早い統合が望ましく、令和4年4月の統合を目指すべきである。

- ・令和4年4月の統合を目指す場合には、今後のスケジュールを鑑みて、令和3年1月中旬に大筋の結論をつけていただく必要があります。その他細かい検討事項については、今後継続して検討いただくことは可能です。(事務局回答)

【活用する校舎について】

○直近で外部改修工事を行っており、敷地面積も広いことなどから、もみじ台中学校を活用すべきである。

【小中一貫校の設置について】

○若者が移住したくなるような魅力ある地域へしていくためにも、将来的には地域の中心に小・中学校が設置されることが望ましい。

○今回の中学校統合を今後のまちづくりの着火剤にしたいと考えている。

【意見書の提出について】

○検討委員会で決まった結論については、意見書として教育委員会へ提出すべきである。

【その他】

○今回の統合を機に「もみじ台」とついた学校名を一新してはどうか？という声が地域の一部から出ている。

- ・学校名の変更はメリットとデメリットの両方がある。メリットとしては、新しい学校となるため、みんなの意識がリセットできることなどがあげられる。デメリットとしては校名の公募に時間を要することなどがあげられる。

- ・もみじ台地域の学校なので、「もみじ台」という名称は大切に残すべきである。
→より早い統合が望ましいことから、「もみじ台中学校」という学校名をそのまま使用し、将来的な小・中一貫校の設置の際には、新しい校名についてみんなで検討を行う。

○冬期間は暗くなるのが早く、部活動終わりなどに夜道を歩かせるのが心配である。

○自転車通学やバス通学を認めてもいいのではないかという意見が出ている。

○統合直後は、生徒たちに寄り添うため、少人数学級、教員数の増加、スクールカウンセラーの導入を検討すべきである。

2 回目の委員会における検討結果

検討委員会では、皆様からのご意見を参考に検討を進めさせていただきました。2 回目の委員会の検討結果は以下のとおりです。

- 1 もみじ台中学校、もみじ台南中学校の小規模化による課題を解消すべく、両校の統合について準備を進める。
- 2 両校の統合に際しては、直近で外部改修工事を行っており、敷地面積も広い「もみじ台中学校」を活用する。
- 3 その他、統合に必要な事項及び委員から要望があった事項については、学校と教育委員会事務局が中心となり、今後も検討を進める。
- 4 統合時期は、生徒の気持ちに十分に寄り添いながら進めるために一定期間を設け、かつ、小規模化による課題を速やかに解消することを踏まえ、令和4年4月を目指す。
- 5 将来的にはもみじ台地区の中心部に小学校と中学校を集約して「小中一貫校」を設置するなど、子育て世代にとってより住みよいまちづくりを推進していく。
- 6 上記5点を踏まえ、教育委員会に対し、意見書を提出する。

■ご意見ご質問は下記の検討委員会事務局までお寄せください

もみじ台地域学校規模適正化検討委員会事務局
(札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目S T V北2条ビル5階
E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp
F A X 011-211-3837
電 話 011-211-3836



さっぽろ市
02-S01-20-2079
R2-2-1279
SAPPORO